

あかとう堂々

発行／飯綱町役場 企画課 地域振興係

Tel : 026 - 253 - 2511 FAX : 026 - 253 - 5055 E-mail : shinko@town.iizuna.nagano.jp

赤東未来創造プロジェクト 集落支援事務局《赤東コミュニティ消防センター2F》

携帯 : 080 - 7733 - 5627 E-mail : shurakushien@gmail.com

毎月十日は「あかとうの日」

五月から始動した「赤東未来創造プロジェクト」は、月一のペースで集まり、赤東区の将来展望を話し合っています。願わくば、そうした委員の皆さんに委ね過ぎる事なく、多様な区民の皆さんの声を聞きながら、赤東区の未来を創造していきたいと考えます。

そこで、「あかとうの日」です。「あか」は赤ちようちん、「とう」は十日という事で、毎月十日は赤東コミュニティ消防センターを開放し、飲みニケーションの場を開きます。多少の決まり事はありますが、参加は自由です。大いに飲んで大いに赤東の未来を語りましょう。



「あかとうの日」開催日には、赤東コミュニティ消防センター玄関先に赤ちようちんを下げてます。

初日は11月10日(火)
午後18:00より開宴!

参加規則

- ① 一人一品(一酒)を持ち寄る
- ② 賞味期限切れ、又は食品衛生的に問題あるモノは持ち寄らない
- ③ 二十歳以上の男女(それ以下であっても保護者同伴なら可能)
- ④ 赤東区の将来を語ることに酔っ払い過ぎないこと
- ⑤ 飲酒運転は絶対しないこと
- ⑥ 跡片付けは参加者全員で行うこと
- ⑦

あくまでも、赤東区の未来を創造していくが為の語りの場であり、それ以外の酒場ではありません。その趣旨がずれてしまった場合はその時点で「あかとうの日」は終了とさせていただきますのでご理解ください。

また期をみて、世代別、職種別、一ターウンターの方たちといったカテゴリー別の企画も考えています。どうぞ気がね無く、本音を語りに集まりましょう。赤東区の未来づくりに一人でも多くの想いを聞かせてください。

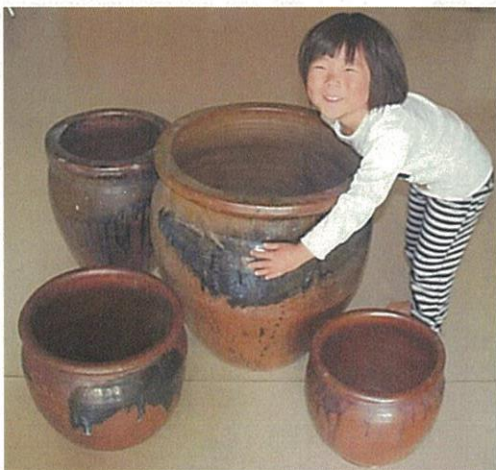
赤塩焼にもっと出会いたい!

先月配布いたしました「赤塩焼調査」へのご協力ありがとうございました。おかげさまで何件かご連絡をいただき、数点の赤塩焼と思われる製品と出会う事ができました。

歴史ふれあい館の小柳義男館長によると、赤塩焼の特徴を確定するには、より多くの製品を見なければ確信が持てないそうです。作品には必ず作り手の癖が残るもので、小林栄十郎・作治郎父子のそれはいったい何なのか、沢山の製品と出会う中で見つけていきたいものです。

赤塩焼調査は、今後とも続けて行きますので、もしやと思われる陶器製品がありましたら、ご一報ください。赤塩焼復活の為、引き続きご協力お願いいたします。

(080-7733-5627 小林まで)



赤塩焼と伝えられている重厚なかめ
重さ約30kgの水かめは園児もすっぽり入る

あかとうこんじゃくものがたり
赤東今昔物語 ④

参考資料：「赤塩学校百年誌」「三水村の歩み」



学校に通う
おまえさんたちや



赤東は昔も今も
一区二校として
大事に第二小を
見守ってきた



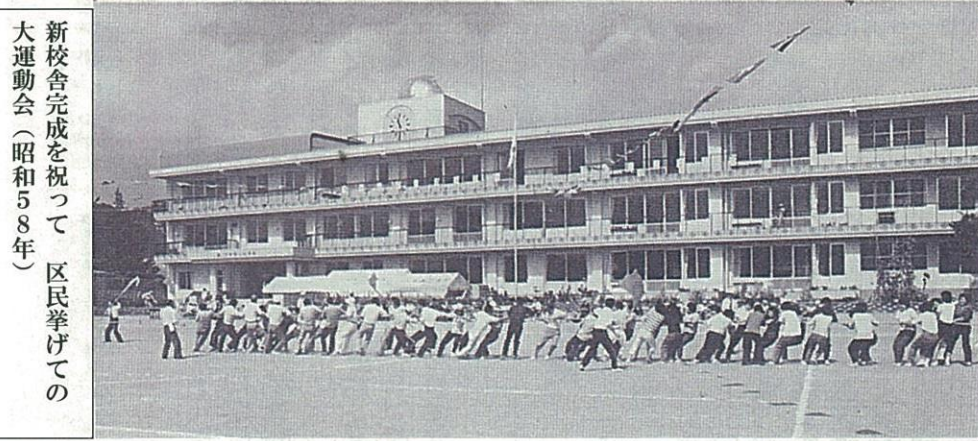
入学式終了後
保護者の様子が気になる新一年生(昭和50年)



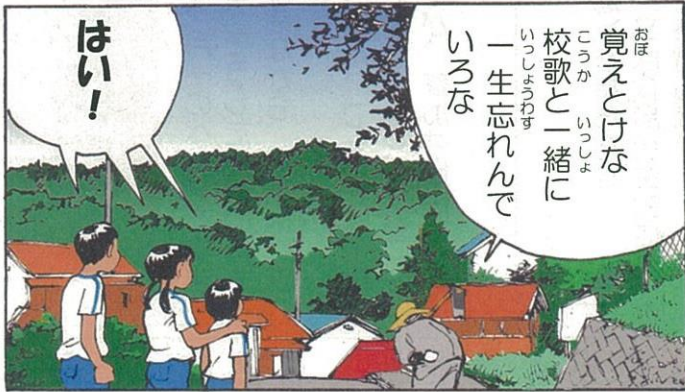
父ちゃん母ちゃん
先生たちと一緒に
地域の衆
みんなでこの学校を
育ててるってところ
がある



赤東にとって第二小は
切っても切れねえ家族
みてえなもんだ



新校舎完成を祝って 区民挙げての
大運動会(昭和58年)



覚えていけな
校歌と一緒に
一生忘れん
でいろな



これは 時の学校長
とやましゅんたろう
外山俊太郎さんの歌だ
意味わかるか?



百年記念

愛し子よ花も実もある

人となれ

開校百年記念碑(昭和48年)

ご協力
ありがとうございました

◎赤東地区住民アンケート調査

只今集計中!

先月配布いたしました住民アンケート、真摯にお答えいただきありがとうございました。

たくさんのご意見、ご提案をふまえてこれからの赤東地区の活性化に向けた将来構想と、具体的なプランの取り組みに活用させていただきます。

集計結果は、次号にて掲載いたします。

あとがき

先日、赤東地区にて車上荒らしがありました。農作業をしていた東の間の時間内での犯行。ふだん施設などいちいちしくとも安心できる地域であると信じていただけに、残念でなりません。

『見かけない人を見たら一〇番』と流れましたが、声を掛けることで犯行を食い止められると聞きます。『見かけない人を見たら声掛けを』こちらの方が赤東地区の防犯によく似合いますよね。